

Q001 基礎 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、障害の社会モデルの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 肢体、視覚、聴覚、内部機能など身体機能の障害。
- B. 知的機能と適応行動に制限があり、発達期に生じる障害。
- C. 障害を個人の機能障害だけでなく、社会環境との相互作用で生じる不利益として捉える考え方。
- D. 心臓、腎臓、呼吸器、膀胱・直腸、小腸、免疫、肝臓など内部機能の障害。

答え・解説

正答：C. 障害を個人の機能障害だけでなく、社会環境との相互作用で生じる不利益として捉える考え方。

超簡単な解説：障害の社会モデルは、障害を個人の機能障害だけでなく、社会環境との相互作用で生じる不利益として捉える考え方。

Q002 権利 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。
- D. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

答え・解説

正答：C. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q003 基礎 | 4択 | 標準

問題

介護実践でICFによる障害理解を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 生活上の困難は環境調整で変化するため。
- B. 障害者の尊厳と安全を守るため、早期対応が必要だから。
- C. 経験者からの情報は孤立感の軽減や生活の工夫につながるため。
- D. 環境を変えることで参加制限を減らせるため。

答え・解説

正答：A. 生活上の困難は環境調整で変化するため。

超簡単な解説：ICFによる障害理解を重視する理由は、生活上の困難は環境調整で変化するため。

Q004 障害種別 | 4択 | 応用

問題

Dさんは身体障害に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人の訴えを受け止め、障害部位だけでなく、本人が困る生活場面を確認する。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、障害部位だけでなく、本人が困る生活場面を確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、身体障害の観点から本人中心に対応する。

Q005 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

答え・解説

正答：D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q006 障害種別 | 4択 | 標準

問題

精神障害に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q007 障害種別 | 4択 | 基礎

問題

発達障害に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q008 障害種別 | 4択 | 応用

問題

高次脳機能障害を支援計画に反映する際の方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業負担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q009 障害種別 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、視覚障害の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 見えない、または見えにくいことにより情報入手や移動に困難が生じる障害。
- B. 障害のある人が社会参加できるよう、過重な負担でない範囲で必要な変更・調整を行うこと。
- C. 障害を負った本人が喪失や葛藤を経験しながら生活を再構築していく過程。
- D. 自閉スペクトラム症、ADHD、学習障害など、発達特性により生活上の困難が生じる状態。

答え・解説

正答：A. 見えない、または見えにくいことにより情報入手や移動に困難が生じる障害。

超簡単な解説：視覚障害は、見えない、または見えにくいことにより情報入手や移動に困難が生じる障害。

Q010 障害種別 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。
- D. 障害部位だけでなく、本人が困る生活場面を確認する。

答え・解説

正答：C. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q011 障害種別 | 4択 | 標準

問題

介護実践で内部障害を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 受け止め方は個人差があり、時間を要するため。
- B. 無理をさせると体調悪化につながるため。
- C. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。
- D. 理解しやすい方法を選ぶことで意思表示を支えられるため。

答え・解説

正答：B. 無理をさせると体調悪化につながるため。

超簡単な解説：内部障害を重視する理由は、無理をさせると体調悪化につながるため。

Q012 心理 | 4択 | 応用

問題

Fさんは障害受容に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、安易に励まらず、本人の感情表出を受け止める。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、安易に励まらず、本人の感情表出を受け止める。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、障害受容の観点から本人中心に対応する。

Q013 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q014 社会参加 | 4択 | 標準

問題

就労支援に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q015 権利擁護 | 4択 | 基礎

問題

障害者虐待防止に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q016 基礎 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、障害の社会モデルの説明としてより適切なものはどれか。

- A. 障害を個人の機能障害だけでなく、社会環境との相互作用で生じる不利益として捉える考え方。
- B. 障害を負った本人が喪失や葛藤を経験しながら生活を再構築していく過程。
- C. 障害のある人が社会参加できるよう、過重な負担でない範囲で必要な変更・調整を行うこと。
- D. 自閉スペクトラム症、ADHD、学習障害など、発達特性により生活上の困難が生じる状態。

答え・解説

正答：A. 障害を個人の機能障害だけでなく、社会環境との相互作用で生じる不利益として捉える考え方。

超簡単な解説：障害の社会モデルは、障害を個人の機能障害だけでなく、社会環境との相互作用で生じる不利益として捉える考え方。

Q017 権利 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 障害部位だけでなく、本人が困る生活場面を確認する。
- B. 麻痺の有無だけでなく、住環境や役割、支援者の有無も確認する。
- C. 安易に励まらず、本人の感情表出を受け止める。
- D. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

答え・解説

正答：D. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q018 基礎 | 4択 | 標準

問題

介護実践でICFによる障害理解を重視する理由として、より適切なものはどれか。

- A. 外見から分かりにくく、環境調整が重要だから。
- B. 経験者からの情報は孤立感の軽減や生活の工夫につながるため。
- C. 生活上の困難は環境調整で変化するため。
- D. 介護者の作業時間を短縮することが、常に最優先になるため。

答え・解説

正答：C. 生活上の困難は環境調整で変化するため。

超簡単な解説：ICFによる障害理解を重視する理由は、生活上の困難は環境調整で変化するため。

Q019 障害種別 | 4択 | 応用

問題

Aさんは身体障害に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人の訴えを受け止め、障害部位だけでなく、本人が困る生活場面を確認する。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、障害部位だけでなく、本人が困る生活場面を確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、身体障害の観点から本人中心に対応する。

Q020 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例20）

- A. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q021 障害種別 | 4択 | 標準

問題

精神障害に関する情報をチームで共有する場面で、より適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q022 障害種別 | 4択 | 基礎

問題

発達障害に関連して介護職が観察する内容として、より適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q023 障害種別 | 4択 | 応用

問題

高次脳機能障害を支援計画に反映する際の考え方として、より適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q024 障害種別 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、視覚障害の説明としてより適切なものはどれか。

- A. 障害を負った本人が喪失や葛藤を経験しながら生活を再構築していく過程。
- B. 心身機能、活動、参加、環境因子、個人因子の相互作用で生活機能を捉えること。
- C. 見えない、または見えにくいことにより情報入手や移動に困難が生じる障害。
- D. 肢体、視覚、聴覚、内部機能など身体機能の障害。

答え・解説

正答：C. 見えない、または見えにくいことにより情報入手や移動に困難が生じる障害。

超簡単な解説：視覚障害は、見えない、または見えにくいことにより情報入手や移動に困難が生じる障害。

Q025 障害種別 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 予定表や手順書を使い、同時に複数のことを求めない。
- B. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 安易に励まさず、本人の感情表出を受け止める。

答え・解説

正答：B. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q026 障害種別 | 4択 | 標準

問題

介護実践で内部障害を重視する理由として、より適切なものはどれか。

- A. 安全確認は医療職だけが行うため。
- B. 理解しやすい方法を選ぶことで意思表示を支えられるため。
- C. 経験者からの情報は孤立感の軽減や生活の工夫につながるため。
- D. 無理をさせると体調悪化につながるため。

答え・解説

正答：D. 無理をさせると体調悪化につながるため。

超簡単な解説：内部障害を重視する理由は、無理をさせると体調悪化につながるため。

Q027 心理 | 4択 | 応用

問題

Cさんは障害受容に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人の訴えを受け止め、安易に励まさず、本人の感情表出を受け止める。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、安易に励まさず、本人の感情表出を受け止める。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、障害受容の観点から本人中心に対応する。

Q028 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例28）

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q029 社会参加 | 4択 | 標準

問題

就労支援に関する情報をチームで共有する場面で、より適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q030 権利擁護 | 4択 | 基礎

問題

障害者虐待防止に関連して介護職が観察する内容として、より適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q031 権利 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 麻痺の有無だけでなく、住環境や役割、支援者の有無も確認する。
- B. 本人の働きたい希望を確認し、相談支援や就労系サービスにつなぐ。
- C. 虐待の疑いは記録し、施設内手順と市町村窓口につなぐ。
- D. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

答え・解説

正答：D. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q032 障害種別 | 4択 | 応用

問題

Dさんは身体障害に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、障害部位だけでなく、本人が困る生活場面を確認する。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、障害部位だけでなく、本人が困る生活場面を確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、身体障害の観点から本人中心に対応する。

Q033 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例33）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。

答え・解説

正答：C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q034 障害種別 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 声をかけて名乗り、腕を貸す位置や段差を具体的に伝える。
- B. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。
- C. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- D. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

答え・解説

正答：B. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q035 心理 | 4択 | 応用

問題

Fさんは障害受容に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応としてより適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人の訴えを受け止め、安易に励まらず、本人の感情表出を受け止める。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、安易に励まらず、本人の感情表出を受け止める。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、障害受容の観点から本人中心に対応する。

Q036 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例36）

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。

答え・解説

正答：A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q037 権利 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。
- B. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 声をかけて名乗り、腕を貸す位置や段差を具体的に伝える。

答え・解説

正答：A. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q038 障害種別 | 4択 | 応用

問題

Aさんは身体障害に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、障害部位だけでなく、本人が困る生活場面を確認する。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、障害部位だけでなく、本人が困る生活場面を確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、身体障害の観点から本人中心に対応する。

Q039 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例39）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q040 障害種別 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 安易に励まらず、本人の感情表出を受け止める。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。
- D. 見通しを示し、刺激を調整し、具体的な手順を伝える。

答え・解説

正答：C. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q041 心理 | 4択 | 応用

問題

Cさんは障害受容に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応としてより適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人の訴えを受け止め、安易に励まらず、本人の感情表出を受け止める。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、安易に励まらず、本人の感情表出を受け止める。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、障害受容の観点から本人中心に対応する。

Q042 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例42）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q043 権利 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。
- B. 麻痺の有無だけでなく、住環境や役割、支援者の有無も確認する。
- C. 疲れやすさや息切れなど外見から分かりにくい症状に配慮する。
- D. 虐待の疑いは記録し、施設内手順と市町村窓口につなぐ。

答え・解説

正答：A. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q044 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例44）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。

答え・解説

正答：C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q045 障害種別 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。
- B. 本人の働きたい希望を確認し、相談支援や就労系サービスにつなぐ。
- C. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- D. 虐待の疑いは記録し、施設内手順と市町村窓口につなぐ。

答え・解説

正答：A. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q046 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例46）

- A. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q047 権利 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 障害部位だけでなく、本人が困る生活場面を確認する。
- B. 声をかけて名乗り、腕を貸す位置や段差を具体的に伝える。
- C. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。
- D. 症状の波や疲れやすさに配慮し、無理のない予定を相談する。

答え・解説

正答：C. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q048 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例48）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

答え・解説

正答：D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q049 障害種別 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 障害部位だけでなく、本人が困る生活場面を確認する。
- B. 安易に励まらず、本人の感情表出を受け止める。
- C. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。
- D. 虐待の疑いは記録し、施設内手順と市町村窓口につなぐ。

答え・解説

正答：C. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q050 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例50）

- A. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q051 権利 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 虐待の疑いは記録し、施設内手順と市町村窓口につなぐ。
- D. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。

答え・解説

正答：A. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q052 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例52）

- A. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q053 障害種別 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 症状の波や疲れやすさに配慮し、無理のない予定を相談する。
- D. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

答え・解説

正答：D. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q054 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例54）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q055 権利 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。
- D. 症状の波や疲れやすさに配慮し、無理のない予定を相談する。

答え・解説

正答：C. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q056 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例56）

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q057 障害種別 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者と、聴覚障害を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。
- B. 麻痺の有無だけでなく、住環境や役割、支援者の有無も確認する。
- C. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- D. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。

答え・解説

正答：A. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q058 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例58）

- A. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q059 権利 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者と、合理的配慮を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 症状の波や疲れやすさに配慮し、無理のない予定を相談する。
- B. 段差を本人の問題にせず、スロープや動線調整を検討する。
- C. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- D. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

答え・解説

正答：D. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q060 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例60）

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q061 障害種別 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の働きたい希望を確認し、相談支援や就労系サービスにつなぐ。
- B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- C. 症状の波や疲れやすさに配慮し、無理のない予定を相談する。
- D. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

答え・解説

正答：D. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q062 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例62）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。

答え・解説

正答：B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q063 権利 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 疲れやすさや息切れなど外見から分かりにくい症状に配慮する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

答え・解説

正答：D. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q064 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例64）

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q065 障害種別 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。
- B. 段差を本人の問題にせず、スロープや動線調整を検討する。
- C. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- D. 虐待の疑いは記録し、施設内手順と市町村窓口につなぐ。

答え・解説

正答：A. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q066 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例66）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q067 権利 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- B. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。
- C. 段差を本人の問題にせず、スロープや動線調整を検討する。
- D. 声をかけて名乗り、腕を貸す位置や段差を具体的に伝える。

答え・解説

正答：B. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q068 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例68）

- A. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

答え・解説

正答：D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q069 障害種別 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。
- B. 安易に励まらず、本人の感情表出を受け止める。
- C. 声をかけて名乗り、腕を貸す位置や段差を具体的に伝える。
- D. 予定表や手順書を使い、同時に複数のことを求めない。

答え・解説

正答：A. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q070 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例70）

- A. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q071 権利 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 安易に励まらず、本人の感情表出を受け止める。
- B. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 麻痺の有無だけでなく、住環境や役割、支援者の有無も確認する。

答え・解説

正答：B. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q072 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例72）

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q073 障害種別 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 虐待の疑いは記録し、施設内手順と市町村窓口につなぐ。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。
- D. 障害部位だけでなく、本人が困る生活場面を確認する。

答え・解説

正答：C. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q074 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例74）

- A. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

答え・解説

正答：D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q075 権利 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 症状の波や疲れやすさに配慮し、無理のない予定を相談する。

答え・解説

正答：A. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q076 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例76）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

答え・解説

正答：D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q077 障害種別 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 見通しを示し、刺激を調整し、具体的な手順を伝える。
- B. 声をかけて名乗り、腕を貸す位置や段差を具体的に伝える。
- C. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- D. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

答え・解説

正答：D. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q078 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例78）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。

答え・解説

正答：B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q079 権利 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。
- B. 安易に励まさず、本人の感情表出を受け止める。
- C. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：C. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q080 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例80）

- A. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q081 障害種別 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 麻痺の有無だけでなく、住環境や役割、支援者の有無も確認する。
- B. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- C. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。
- D. 予定表や手順書を使い、同時に複数のことを求めない。

答え・解説

正答：C. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q082 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例82）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q083 権利 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

答え・解説

正答：D. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q084 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例84）

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。

答え・解説

正答：A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q085 障害種別 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。
- B. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 本人の働きたい希望を確認し、相談支援や就労系サービスにつなぐ。

答え・解説

正答：A. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q086 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例86）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- D. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。

答え・解説

正答：C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q087 権利 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、合理的配慮を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。
- B. 段差を本人の問題にせず、スロープや動線調整を検討する。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

答え・解説

正答：D. 筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。

超簡単な解説：合理的配慮では、筆談、読み上げ、時間延長など必要な配慮を本人に確認する。この対応が適切である。

Q088 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例88）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

答え・解説

正答：D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q089 障害種別 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、聴覚障害を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 疲れやすさや息切れなど外見から分かりにくい症状に配慮する。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 虐待の疑いは記録し、施設内手順と市町村窓口につなぐ。
- D. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

答え・解説

正答：D. 筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。

超簡単な解説：聴覚障害では、筆談、手話、口形、補聴器の状態など本人に合う方法を確認する。この対応が適切である。

Q090 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例90）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

答え・解説

正答：D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q091 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例91）

- A. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q092 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例92）

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q093 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例93）

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q094 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例94）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q095 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例95）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。

答え・解説

正答：B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q096 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例96）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q097 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例97）

- A. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q098 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例98）

- A. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q099 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例99）

- A. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q100 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例100）

- A. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q101 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例101）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。

答え・解説

正答：C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q102 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例102）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

答え・解説

正答：D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q103 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例103）

- A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。

答え・解説

正答：A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q104 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例104）

- A. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q105 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例105）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q106 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例106）

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q107 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例107）

- A. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q108 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例108）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。

答え・解説

正答：C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q109 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例109）

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- B. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q110 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例110）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q111 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例111）

- A. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q112 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例112）

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q113 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例113）

- A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。

答え・解説

正答：A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q114 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例114）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。
- C. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q115 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例115）

- A. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q116 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例116）

A. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q117 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例117）

A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
C. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。
D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q118 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例118）

A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
D. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q119 障害種別 | 4択 | 標準

問題

知的障害の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例119）

A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
D. 抽象的な説明を避け、具体物や絵を使って確認する。

答え・解説

正答：B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：知的障害では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q120 支援 | 4択 | 標準

問題

ピアサポートの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例120）

A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
B. 本人が希望する場合、当事者団体やピア相談の情報につなぐ。
C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：ピアサポートでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。